

NYK バルク・プロジェクト
多目的コンテナ船「Pacific Islander II」の見学会を実施

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを「船ってサイコ〜」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、同プロジェクトの一環として、NYK バルク・プロジェクトのご協力のもと、7 月 21 日（金）に横浜・大黒ふ頭に於いて多目的コンテナ船「Pacific Islander II」の見学会を開催し、夏休み初日ということもあり親子連れを含む 15 名が参加しました。

当日は、同社執行役員 小谷船長の案内のもと、ブリッジ（操舵室）や船長室、エンジンルームなどを見学しました。貨物デッキでは自動車が左右 10cm の幅で駐車される荷役の様子を目の当たりにし「テレビでは見たことあるが、実際に見ると迫力が違う」などのコメントが寄せられました。



その後、キャビンにて本船の概要や寄港地等の説明を受けた後、船長室を経由し、ブリッジに移り、舵輪やレーダー等の機器の説明を受けました。ブリッジでは、舵輪に触れたり、電子・紙海図に興味を示したり、双眼鏡をのぞき込んだり、ブリッジの外に出て横浜港の景色を眺めるなど、それぞれの時間を堪能することができました。



また、エンジンルームでは、メインエンジン・発電機などを制御するためのモニターやメーター類の説明を受け、参加者らは普段目にするのではない本船の構造に興味を持たれた様子でした。

見学後のキャビンでは「どれくらいの荷物や燃料が積めるのか」「航海日数はどれくらいか」など船に関する質問から、「どのようにして船長になったのか」「お酒は飲めるのか」など、船員や生活の様子に関する質問まで多く飛び交い、海運および船員への理解が深まる見学会となりました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

